

おばま 市議会だより

No. 188

雲浜小学校6年雲組の
皆さんが議場見学ツアーに
参加してくださいました



胃がん検診の受診率向上を図る取り組みなどの補正予算案を可決
議場見学ツアーを開催

裏表紙に議場見学ツアーの様子を掲載しています

くまなくチェック 委員会審査



6月補正予算の審査

胃がん検診の受診率向上を図るための取り組みにかかる費用の追加や、小学校のスクールバスを運行する経費の追加などが盛り込まれた6月補正予算案を可決しました。

審査の過程であった主な質疑等を紹介합니다。

■ 可決した6月補正予算

会計名	既決予算額	補正額	補正後予算額
一般会計	181 億 6,500 万円	1 億 4,317 万円	183 億 817 万円

pick up

スクールバス運行で 対象児童の下校手段を確保

小学校スクールバス運行事業
99万9,000円

内外海小学校の日課表の変更に伴い、下校の際にあいあいバスを利用することができなくなった児童の下校手段を確保するため、ジャンボタクシーを運行する経費を追加するもの。

pick up

はがきの送付により 胃がん検診の受診率向上を図る

けんしん事業
58万円

胃がん検診の受診率向上を図るため、受診を促すはがきを送付する費用を追加するもの。財源として、企業版ふるさと納税の寄付金を活用する。

問

受診率向上を図るための方策として、受診を促すはがきを送付することにした理由は。

答

乳がん・子宮頸がん検診において、受診券を送付することで受診率が向上した成功例を踏まえ、胃がん検診のうち、昨年度まで受診券が送付されていなかった胃内視鏡検査について、今年度から受診券を送付している。しかし、胃がん検診は身体的負荷が大きく、乳がん・子宮頸がん検診と比べ受診率が上がりにくいと考えられることから、秋頃に未受診者を対象に受診を促すはがきを送付することで受診率の向上を図る。

問

他校のスクールバスの運行が大きな財政負担となっていることを踏まえ、あいあいバスのダイヤを改正するなど、代替案の検討経過は。

答

あいあいバスのダイヤ改正に伴う諸経費とジャンボタクシーの運行経費とを比較すると、ジャンボタクシーを運行するほうが経費が少なく済むことに加え、一般のあいあいバス利用者への影響を考慮する必要があり、現時点でのダイヤ改正は現実的ではないと判断した。ジャンボタクシーの運行は、大手橋・西津橋の架け替え工事の完了に伴い実施されるあいあいバスのダイヤ改正までの暫定的な対応とする方針である。



庁舎施設管理経費

552万2000円

説明

庁舎の高圧受電設備改修工事において、資材価格の高騰に伴い、工事請負費が当初の見込みを上回ったことによる費用を追加するもの。

問

資材価格の高騰が続く中で、さらに工事請負費が増額することはないか。

答

今回の工事は、変圧器の更新が工事費用の大部分を占めていることから、資材価格変動の影響を受けにくいよう、契約締結後速やかに変圧器製作を指示するので増額することはないと考えている。

地域担い手づくり整備事業

(地域農業構造転換支援事業)

2184万8000円

ふくいのスマート農業加速化事業

3189万8000円

農村発イノベーション推進事業

86万6000円

中山間総合対策支援事業(ハード事業)

1508万円

説明

農業用機械等の導入を補助する国や県の事業の採択を受けたことにより必要となった経費を追加するもの。

問

4事業のうち、複数の事業で同じ事業者が補助を受けている傾向が見られ、経営面積拡大などの補助要件を満たすことができる事業者が固定化する懸念がある。事業の公平性は確保されているか。

答

県から通知される各事業の要領などの情報は、認定農業者を中心に広く周知している。しかしながら、事業費の全額が補助されるのではなく自己負担が生じるため、事業者は経営状況などを勘案の上、申請を行うか判断している。今後、小規模農家を含め多くの事業者が支援を受けられるよう、補助要件の緩和や補助対象の拡大等について県に要望していきたい。

請願の審査

日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書提出に関する請願

説明

核兵器禁止条約に署名・批准することについて、国および関係機関に意見書を提出することを求める請願。

主な賛成意見

「唯一の被爆国であり、核兵器の脅威を知っている日本が同条約に署名・批准することには価値がある」

主な反対意見

「安全保障に係る問題であり、高度な政治判断が求められることから、国が判断すべきである」
「核保有国が署名・批准していない同条約の実効性には疑問がある」

陳情の審査

「地域医療・介護を崩壊させないために機敏な診療・介護報酬改定を求める意見書」の採択を求める陳情書

説明

機敏な診療・介護報酬の改定および医療・介護の分野で働く労働者の賃金引き上げについて、国に意見書を提出することを求める陳情。

主な意見

「地域医療や介護の現場が厳しい状況にあることは理解するが、報酬の引き上げは社会保険料の引き上げにもつながるため、容易に賛成できない」
「報酬の改定は国において審議されており、動向を見守るべきである」

ホームページをご覧ください

採決結果や定例会の日程、本会議の動画配信(本会議終了後2週間程度で視聴できます)など、さまざまな情報を発信しています。



契約の審査

旧遠敷小学校旧校舎・体育館解体工事請負契約の締結について

説明

旧遠敷小学校旧校舎・体育館解体工事（契約金額1億5996万5300円）について、予定価格が1億5000万円を越えることから、契約の締結に当たり、議会の議決を求めるもの。

問

契約締結後における増額変更の可能性を問う。

答

解体工事を進める中でアスベストが発見されるなど、想定外の問題が生じた際は増額する可能性がある。

問

想定外の問題が生じた際の対応方法は。

答

現場等を確認し、請負業者と協議をした上で、必要に応じて契約内容や契約額の変更を行う。

問

どのような問題が生じた場合に協議対象とすることについての判断基準は。

答

契約書や仕様書等の工事請負に関する取り決め

に基づき、適切に判断する。



解体工事を行う旧遠敷小学校旧校舎

小浜市文化会館耐震改修工事請負契約の締結について

説明

小浜市文化会館耐震改修工事（契約金額4億9453万2500円）について、予定価格が1億5000万円を越えることから、契約の締結に当たり、議会の議決を求めるもの。

答

現在、市が発注する新築工事がないことや、物価高騰により民間工事も減少している社会情勢などから、市内建築業者が仕事の確保に苦慮している現状を踏まえ、受注できる業者の範囲が広がるよう本工事を建築工事と電気設備工事、機械設備工事など複数に分割して発注できなかったのか、その検討の経緯を問う。

自由討議

質疑の終了後、公共工事の発注について自由討議を行いました。意見の一部を紹介します。



入札の執行に当たり、行政は地元業者の実情をよく把握し、それに即した発注形態を考慮する姿勢をこれまで以上に示してほしい。

市内建築業者は厳しい経営環境に置かれており、大型公共工事の発注に当たっては、より多くの業者が受注できるよう、分割発注の可能性を模索すべきだったのではないかと。



答

工事を分割した場合、経費が増加し予算を超過する。さらに、建設業法の規定により、分割した場合はそれぞれの工事に専任の監理技術者を配置する必要がある、技術者が不足している現状や市が発注を予定している工事の状況などを勘案し、本工事では専任の監理技術者等の人数を抑えることができる一括発注が適切であると判断した。

令和8年第2回定例会採決結果

賛成全員で可決、同意した議案等

項目	件名	項目	件名
報告	令和7年度小浜市一般会計予算繰越明許費の報告について	その他	旧遠敷小学校旧校舎・体育館解体工事請負契約の締結について
	令和7年度小浜市産業団地整備事業特別会計予算繰越明許費の報告について		小浜市文化会館耐震改修工事請負契約の締結について
	令和7年度小浜市水道事業会計予算繰越の報告について	意見書	北陸新幹線の早期全線開業を求める意見書
	令和7年度小浜市下水道事業会計予算繰越の報告について		
	株式会社ケーブルテレビ若狭小浜経営状況の報告について	人事	農業委員会委員の任命について（内田篤宏さん）
	小浜市総合卸売市場株式会社経営状況の報告について		農業委員会委員の任命について（赤尾裕子さん）
	小浜市国民保護計画の改定について		農業委員会委員の任命について（岡本康次さん）
	株式会社まちづくり小浜経営状況の報告について		農業委員会委員の任命について（工藤ふさ子さん）
予算	専決処分につき承認を求めることについて（令和7年度小浜市一般会計補正予算（第8号））		農業委員会委員の任命について（早俊夫さん）
	令和8年度小浜市一般会計補正予算（第1号）		農業委員会委員の任命について（東野重樹さん）
条例	専決処分につき承認を求めることについて（小浜市市税条例の一部改正について）		農業委員会委員の任命について（福永信明さん）
	専決処分につき承認を求めることについて（小浜市国民健康保険税条例の一部改正について）		農業委員会委員の任命について（河嶋幸男さん）
	専決処分につき承認を求めることについて（小浜市都市計画税条例の一部改正について）		農業委員会委員の任命について（東清俊さん）
	小浜市市税条例の一部改正について		農業委員会委員の任命について（前野伸吉さん）
	小浜市監査委員に関する条例の一部改正について		固定資産評価審査委員会委員の選任について（橋本勝洋さん）
	小浜市印鑑条例の一部改正について		

賛否が分かれた議案等

否＝賛成少数（否決・不採択）
○＝賛成 ×＝反対

項目	件名	採決結果	浦合梨華子	佐野達也	上野一	世戸玉枝	武長田里子	東野浩和	川代雅和	岡泰宏	竹本雅之	牧岡輝雄	藤田靖人	池田英之	小澤長純	今井伸治	下中雅之	富永芳夫	池尾正彦	賛成	反対
請願	日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書提出に関する請願	否	×	×	×	○	×	×	×	○		×	×	×	×	×	×	×	×	2	14
陳情	「地域医療・介護を崩壊させないために機敏な診療・介護報酬改定を求める意見書」の採択を求める陳情書	否	×	×	×	○	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	1	15

※竹本雅之議員は議長のため、採決には加わっていません。

市政を問う！一般質問

令和8年第2回（6月）小浜市議会定例会

氏名	質問項目	氏名	質問項目
佐野 達也	1. ドラマ「サバ缶、宇宙へ行く」の影響	上野 一	1. 有機農業について 2. 有害鳥獣侵入防止対策について 3. 環境衛生施設の広域的な整備と跡地活用
世戸 玉枝	1. 公立保育園の主食提供について 2. 市民の健康増進について 3. 市営住宅の入居条件および家賃減免について 4. 国民健康保険税の減免制度について	武長 由里子	1. 空き家・中古住宅の活用について 2. 重層的支援体制整備事業の進捗について
牧岡 輝雄	1. 公民館のコミュニティセンター化について 2. スポーツまちづくりについて	池田 英之	1. 探究学習の取組みについて 2. ひとり暮らし高齢者相談員の活動について
		東野 浩和	1. インフラ整備について 2. 小浜市のブランド向上について

※一般質問の原稿は発言議員が自ら作成しています。二次元コードを読み取ると、一般質問の様子を動画でご覧いただけます。

ドラマ「サバ缶、宇宙へ行く」の影響

問 ドラマ「サバ缶、宇宙へ行く」の放送が、小浜市の観光面に与えた影響について伺う。

答 放送開始直後の4月と5月における市内主要観光地の入込客数は、「道の駅若狭おばま」が前年と比べて3万7359人増の11万2259人、「御食国若狭おばま食文化館」が前年比1万1900人増の4万1369人となっている。同じく4月と5月における主要物販施設・飲食店の売り上げは、「道の駅若狭おばま」が前年比約33%増、「お食事処濱の四季」が前年比約21%増となっている。さらに、本市の観光情報サイト「まるっとおばま」については、ホームページの表示回数が前年比約41%増の25万回、ページ内の記事の閲覧やクリックを行ったサイトの利用者数は約58%増の7万6000人となっている。

問 ドラマの効果を継続させるための取り組みについて伺う。

答 ドラマの効果を誘客につなげていくため、若狭おばま観光案内所では、「ロケ地マップ」を使って実際にロケ地を巡り、撮影写真をSNSに投稿していただいた方に、オリジナルグッズをプレゼントする企画を予定している。また、市内において「特別ドラマ展」を開催するなど、本市の魅力を広く内外に発信していきたいと考えている。ドラマの効果の「継続」と「最大化」を目指し、今後も地域全体で盛り上がりを生み出すとともに、様々な角度から小浜の魅力を発信し、新たな客層やリピーターの誘客拡大につなげていきたい。



佐野 達也



公営住宅家賃・国保税の減免を

問 昨年、公立保育園3歳以上児に主食提供をと質問があった。その後の進展を伺う。

答 副食費に加えて主食費の負担も増えるので保護者の理解が必要。県内の動向を注視しながら、補助制度などを検討している。

問 若狭総合温水プールに通っていた高齢者が、ある日突然来られなくなった。聞いてみると、本人は元気だが、高齢になり免許証を返納したため、通えなくなったという。若狭総合公園への「あいあいバス」乗り入れについて伺う。

答 あいあいバスが乗り入れるにはルート変更やダイヤ改正が必要。このルートは、西津橋・大手橋が開通するタイミングで大幅に見直されるため、それに合わせて調査・検討する。

問 公営住宅に入居するには「税金を滞納していないこと」が条件であるが、安い市営住宅に入って、生活を立て直し、滞納した税金を支払うようにするのが温かい市政ではないか。

答 公平性確保の観点から要件に入れている。国保税の減免について、市の減免制度では、「災害により生活が困難となった世帯」とあり低所得の人は減免されない。減免基準が設けられるべきではないか。

問 国保税は令和12年度に県統一となる。統一の際には、明確な減免基準が設置されるよう働きかけたい。



世戸 玉枝



スポーツで健康長寿のまちへ



まきの てるひろ
牧岡 輝雄



問 総合型地域スポーツクラブの育成や部活動の地域展開、生涯スポーツの推進など、今後10年を見据えたスポーツまちづくりをどのように進めるのか。また、健康寿命の延伸を政策の柱として取り組む考えは。

答 市内には平成24年に設立された総合型地域スポーツクラブがあり、サッカーやテニスを中心に活動している。市はスポーツ教室の開催を委託しており、今後は中学校部活動の地域展開とも連携しながら、地域の実情に応じたスポーツ環境の整備を進めていく。

問 中学校部活動の地域展開への対応は。

答 地域展開には、指導者の確保・育成や安全な活動環境の整備、安定した財源の確保が重要である。国の補助制度を活用するとともに、受益者負担や民間活力の導入も含め、持続可能な運営体制の構築を目指す。

問 本市発祥のソフトバレーボールなどの地域資源を活用し、健康寿命の延伸に向けたスポーツ行政を今後どのように進めていくのか。

答 市は、競技スポーツの振興と健康づくりの両立を基本方針としている。「スポーツ参画人口の拡大」「スポーツを通じたコミュニティ形成」「地域経済の活性化」を柱に、本市発祥のソフトバレーボールなどの生涯スポーツの普及に努め、誰もが気軽にスポーツに親しみ、健康で生き生きと暮らせるまちづくりを進めることで、健康寿命の延伸につなげていく。

有機農業！ 獣害防止！ 環境衛生施設の課題！



うえの はじめ
上野 一



問 学校給食に有機農産物を利用することの考えについて伺う。

答 学校給食を入り口として、生産者、学校、家庭、地域がつながること、地域内で生産・消費し、次世代へ継承していく環境を生み出し、「稼ぐ」「活かす」「育む」の好環境につなげていくことが重要であると考えている。

問 有害鳥獣の侵入防止柵（金網柵）の修繕等の支援について伺う。

答 野生鳥獣による破損や降雨等により柵の山側に土砂が堆積した場合など小規模な修繕は、多面的機能支払交付金を活用する。自然災害等により柵が広範囲にわたり破損した場合や大規模な土砂流入が発生した場合は状況に応じて災害復旧事業の活用を検討する。

問 市民・業者から、若狭広域クリーンセンターおよび若狭広域サテライトセンターについて、ごみの直接搬入の持ち込み制限が厳しいとの意見が寄せられている。そこで、両施設における本市のごみの受入状況について伺う。

答 令和7年度のごみ受け入れ総重量は、小浜市、高浜町、おおい町、若狭町の4市町合わせて1万7646トンであり、その内、小浜市は約48%の8438トンである。豊や布団類の持込枚数制限については、施設でのスムーズな受け入れ態勢の確保とごみ減量化のため、組合の統一ルールとして設けているものである。

空き家を住宅資源に／重層的支援体制整備事業



たけなが ゆりこ
武長 由里子



問 住まいに関する支援の実績は。

答 令和7年度の交付実績は、小浜市住まい支援事業（子育て世帯等支援型）で4件、小浜市住まい支援事業（多世帯同居支援型）で5件、結婚新生活支援事業で14件である。

問 国、県との支援の連携は。

答 国、県、市の一元的な窓口はない。福井県のウェブサイトに、住まいづくりの支援制度をまとめたものがあり県や県内各市町、国の支援制度の情報が紹介されている。

問 今後の住宅政策をどう捉えているのか。

答 中古住宅や空き家を魅力的な選択肢として選んでもらえるように支援し、眠っている不動産の賃貸や売買を促す政策を展開する。まずは、「移住定住サイト」の更新を行い、空き家情報と各種支援策を一元化する。

問 重層的支援体制整備事業の相談件数は。

答 令和7年度の相談件数は、電話が315件、来所が77件、訪問が33件の合計425件である。

問 支援の進め方について伺う。

答 地域福祉課が旗振り役となり、個別ケース会議を招集して、対象世帯の課題を明確にしている。その上で支援の方針を決め、誰がどのような形で対象世帯に対しアプローチを行うっていくか役割分担を行い、支援を行う。また、支援による効果を定期的に確認し、支援内容の見直しが必要な場合は、支援方法の変更や追加の支援を行う。

「探究のまち小浜」から地域活性化を！



池田 英之
いけだ ひでゆき



問 ドラマ「サバ缶、宇宙へ行く」で描かれている探究学習の意義は。

答 失敗を恐れずに何度も挑戦することや「主体性」を生かした教育活動、学校と地域の教育力、長年の研究の継続性等である。

問 「小浜市教育に関する大綱」における探究学習の位置づけは。

答 「自己の生き方を考え、未来の社会や地域を創造していく力」を育成するものであり、本市が目指す教育のあるべき姿として位置付けている。

問 「探究のまち小浜」の今後の展望は。

答 子どもたちの新鮮な驚きを大切にし、夢に向かって挑戦できる活気ある教育環境を構築する。子どもたちが生き生きと輝くことで、地域コミュニティや地元産業の活性化を促し、「地域が潤うふるさと小浜」の実現に結び付く。また、探究学習の成果を市外に発信し、移住・定住の促進にもつなげていく。

問 市内ひとり暮らし高齢者の現状と課題について。

答 令和7年4月1日時点で、1316世帯となっており増加している。身近なコミュニティの確保が求められる。

問 ひとり暮らし高齢者が安心して住み続けられる地域づくりの取り組みは。

答 見守り活動や生活支援に関わる関係機関同士の情報共有を一層進め、地域住民、民生委員、相談員の皆さまと行政とが一体となって、相談支援から生活支援、医療・介護の連携まで切れ目のないサポート体制を充実させる。

市名称変更への考えを問う



東野 浩和
ひがし ひろかず



問 御食国ブランド戦略の取り組みを進め、本市をアピールしていく上において、歴史的にも、本市が旧国名「若狭」にあるまちであることを、広く明確に示すことが有効と考える。現状の市名称「小浜市」から「若狭小浜市」への変更の考えは。

答 小浜市は、古代から日本海と京都を結ぶ街道の起点として栄え、江戸時代には若狭地方の政治・経済の中心地として発展した。また、現状の小浜市となるまで、深い歴史の中で町村合併、編入が行われ、この地にしっかりと定着した名称である。

また、市の名称変更には、多くの市民の皆さまの思いと長い歳月をかけた議論が必要である上、市名変更が決定された後も、市民生活の基本となる公共施設など、あらゆるものの変更が必要となり、多額の費用を要することになる。

さらに、民間施設においても、様々な表記を書き換える必要に迫られるなど、大きな影響が想定され、慎重な検討を要すると認識している。

このような状況から、市名変更の検討は行っていないが、旧国名「若狭」は、地理的位置関係や歴史の深みを直感的に想起させることに有効であることは認識しており、ブランド戦略に基づく情報発信において、旧国名「若狭」を生かすことも含め、選ばれるまちづくりを推進していきたい。

議会を傍聴しませんか？ ～9月定例会の予定～

以下の会議は傍聴することができます。

傍聴される際には、議場・会議室に入室される前に必ず、市役所5階の議会事務局で受付をお願いします。会議の途中でも入退室できますので、ご都合の良い時間に、ぜひお越しください。

8月26日(水) 本会議・予算決算常任委員会
31日(月) 総務民生常任委員会・分科会調査
9月 1日(火) 産業教育常任委員会・分科会調査
10日(木) 本会議(一般質問)
11日(金) //

14日(月) 予算決算常任委員会
16日(水) 本会議
17日(木) 産業教育分科会調査(令和7年度決算)

9月18日(金) 産業教育分科会調査(令和7年度決算)
24日(木) 総務民生分科会調査(令和7年度決算)
25日(金) //

10月 1日(木) 予算決算常任委員会
6日(火) 本会議

※本会議の様子はチャンネルOで放送しています。

◎開始時刻はいずれの会議も10:00を予定しています。

※状況に応じて、変更が生じる場合があります

小浜・京都ルートで早期の認可着工を！

7月15日、北陸新幹線敦賀・新大阪間の延伸ルートを議論する与党整備委員会は、現行の「小浜・京都ルート」で合意し、京都市内の駅位置をJR桂川駅付近とする「桂川案」を採用することを決定しました。市議会では、ルートの決定を後押しするため、要望活動等を実施してまいりましたので、その概要を報告します。

中央要望の実施

北陸新幹線早期全線開業特別委員会では、7月1日に中央要望を行いました。

その際、北陸新幹線敦賀・新大阪間整備委員会の西田昌司共同代表（参議院議員）からは、「今国会中のルート決定に向け、取り組んでいく」との前向きな発言がありました。

要望では、西田昌司共同代表のほか、滝波宏文事務局長（参議院議員）、稲田朋美委員（衆議院議員）ら19人に要望書を提出。次の4項目を求めました。

① 今国会中に京都駅位置・詳細ルートを決定すること。併せて、科学的知見に基づく情報発信と丁寧な説明を念入りかつ重点的に行い、沿線自治体や地元関係者等の理解を得るとともに、環境影響評価を迅速に進め、令和9年度の認可・着工を実現すること。

② 国土強靱化に資する国策として、国費の大幅な拡充や貸付料の最大限の確保な



西田共同代表に要望書を手渡しました

ど、必要な財源を早急に確保し、一日も早い着工5条件の解決を図ること。また、地方負担については、沿線の地方自治体に過度な負担が生じないように、適切な財源措置を講じること。

③ 北陸新幹線事業推進調査を沿線住民の理解を得ながら迅速に進め、施工上の課題を早期に解決し、認可・着工を含め、全線開業までのスケジュールを明らかにすること。

④ JR小浜線は特急が運行されており、新幹線開業により旅客輸送量が著しく低下する路線ではないため、敦賀・新大阪間の整備に伴う並行在来線には該当しないことを確認すること。

全国市議会議長会に 議案を提出

5月27日、全国市議会議長会第102回定期総会において、小浜市議会が提出した「北陸新幹線の整備促進について」の議案が可決されました。

議案書の要望項目には、小浜・京都ルートでの早期認可・着工と全線開業を求める内容や、JR小浜線が並行在来線に該当しないことの確認などの3項目を記載。竹本議長が、全国の市議会の議長が集まる中、議案の説明を行いました。



議案の説明を行う竹本議長

市民団体との意見交換会を開催

～議員報酬について意見交換を行いました～

《開催日》

令和8年5月29日(金)

《出席者》

- ・小浜市議会(議長、副議長、議会運営委員会委員)
- ・市民団体の代表者(小浜市区長会長会、小浜市社会福祉協議会、小浜商工会議所青年部、小浜商工会議所女性会、若狭青年会議所、小浜男女共同参画ネットワーク、小浜市PTA連合会)



意見交換会の様子

《開催の経緯等》

全国的に議員のなり手不足が深刻な課題となる中、議会が将来にわたってその役割を果たしていくためには、多様な人材の参画が重要となっています。

こうしたことから、小浜市議会では、誰もが活動しやすい環境を整えるため「会議等の欠席理由に出席を追加」したり、「議員のコンプライアンス研修」を実施したりするなど、様々な取り組みを行ってきました。

そして、このなり手不足の課題を解決する一助として、約32年間据え置きとなっている議員報酬のあり方を検討してきたところです。

今回の「市民団体との意見交換会」は、議員報酬のあり方について検討するに当たり、市民のみなさまのご意見をお聴きするため開催しました。

当日は、まず議会から、なり手不足の現状や、報酬を検討する必要性のほか、これまでの検討状況などについて説明し、その上で参加者から質疑やご意見を頂きました。活発に意見を交わすことができ、有意義な意見交換会となりました。

頂いたご意見の一部を紹介します

- 仕事内容や責任、物価高騰等の現状を考えれば、月35万円の報酬は決して高くない。
- 平成6年から報酬が据え置きされていたことを踏まえ、引き上げに賛成である。
- 若い議員を増やすためには、若者が地域から推薦される流れを作っていかなければならない。報酬が上がることにより、地域の方が推薦しやすくなるような環境を作れるのではないか。
- 子育てや大学進学のコストを考えると、現状の35万円の議員報酬だけではやっていけない。生活費として考えると、報酬を引き上げることは賛成であるが、報酬の引き上げに伴い、議員の資質向上も図らないと市民は納得しない。
- 市民は議員の活動をしっかり見ており、政策提言の力や行政をチェックする能力といった議員としての資質が問われている。報酬の金額そのものよりも、議員が小浜市の現状を深く理解し、行政と連携して市を良くしようとする高い理想と自覚を持つことが重要である。

◆議会活動日誌◆

◆4月

- 8 (水) 議会運営委員会
- 9 (木) 広報委員会
- 10 (金) 全員協議会、小浜市交通指導員・防犯隊委嘱
状交付式および出動式
- 11 (土) 小浜市赤十字奉仕団大会
- 12 (日) 小浜市の歴史と文化を守る市民の会総会お
よび講演会
- 18 (土) 蘇洞門開き
- 22 (水) 議会運営委員会
- 23 (木) 北信越市議会議長会定期総会(長野県松本
市)
- 26 (日) 小浜市障がい者スポーツ大会
- 30 (木) 議会運営委員会
- ◆5月
- 2 (土) 川越市公式使節団歓迎会
- 9 (土) 小浜男女共同参画ネットワーク総会
- 11 (月) 全員協議会
- 16 (土) 小浜市区長総会
- 18 (月) 小浜市総合卸売市場株式会社取締役会お
よび定時株主総会、株式会社ケーブルテレ
ビ若狭小浜取締役会および定時株主総会
- 20 (水) 鯖街道まちづくり連携協議会総会
- 22 (金) 嶺南広域行政組合議会代表者会議(おおい
町)
- 23 (土) 小浜市議会災害対策連絡会議、小浜市防災
訓練

◆6月

- 26 (火) 議会運営委員会
- 27 (水) 全国市議会議長会定期総会(東京都内)
- 29 (水) 全員協議会、北陸新幹線早期全線特別委員
会、市民団体との意見交換
- 31 (日) 福井県北陸新幹線建設促進同盟会総会およ
び講演会
- ◆6月
- 5 (金) 令和8年第2回小浜市議会定例会、予算決
算常任委員会、広報委員会、若狭マリニピア
2026実行委員会
- 10 (水) 産業教育常任委員会・分科会
- 11 (木) 総務民生常任委員会・分科会
- 13 (土) 北陸新幹線小浜・京都ルート建設促進同盟
会理事会・総会・決起集会、北陸新幹線小浜・
京都ルート早期実現小浜市民協議会役員会
- 16 (火) 議会運営委員会
- 17 (水) 西小川・加尾・宇久道路改良促進期成同盟会
総会
- 19 (金) 県立大学小浜・かつみキャンパスを育てる
会総会および講演会
- 21 (日) 小浜消防団消防操法大会
- 22 (月) 令和8年第2回小浜市議会定例会、議会運
営委員会、全員協議会、北陸新幹線早期全線
開業特別委員会
- 23 (火) 令和8年第2回小浜市議会定例会、総務民
生常任委員会、産業教育常任委員会
- 24 (水) 予算決算常任委員会
- 29 (月) 議会運営委員会、全員協議会、令和8年第2
回小浜市議会定例会
- 30 (火) 小浜商工会議所議員懇親会

●●●寄付行為の禁止●●●

議員が選挙区内の人や団体に寄付をすることは、公職選挙法で禁止されています。

禁止されている例として、以下のようなものがあります。

- 町内会・自治会の集会や旅行など催し物への差し入れ
- 祭りへの寄付や差し入れ
- 地域の行事や運動会への差し入れ
- 病気見舞い
- 落成式や開店祝いの花輪、葬式の花輪、供花
- 本人以外が代理で出席する場合の結婚祝いや葬式の香典
- 出産・入学・卒業・就職等の祝い金や祝い物
- お中元やお歳暮
- 年賀状・暑中見舞いなどのあいさつ状
(答礼のための自筆を除く)

政治家に寄付をするよう勧めることや求めることも禁じられていますので、皆さまのご理解をお願いいたします。

編集後記

議会は様々な役割を担っています。

一つは、行政が提案した、予算や条例などの議案を慎重に審議すること。

もう一つは、議員として小浜市民のために、一般質問等の活動をする事。

この二つを詳しく紹介しているのが「市議会だより」であり、市民の皆さまに正確な情報を伝えていくことが重要だと考えています。

市民の皆さまの信頼を得るために、地道な努力をしてまいります。

広報委員会 委員 池尾 正彦

小学生が「模擬議会」を開催！

～雲浜小6年が議場見学ツアーに参加しました～

7月8日(水)、雲浜小学校6年雲組の児童33人と教員2人が市役所5階の議場を訪問。模擬議会を開催し、スマートフォンの使用時間についての条例案の審議・採決を行いました。そのほかにも、竹本議長からの説明で議会の仕組みを学んだほか、議員へのインタビューを行うなど、盛りだくさんの内容で議会を体感しました。

参加した児童からは、「模擬議会を体験して、議員の責任の重さがわかった」「議会を身近に感じて、政治に興味を持つことが出来た」などの感想を頂きました。

議場見学ツアーの参加者を随時募集しています
詳細はHPをご覧ください➡



模擬議会で採決のボタンを押す児童



議員にインタビュー！



議長席で記念撮影

市議会の 議場を開放

予約
不要

市議会では、夏休み中に、議場と委員会室を自習室として開放します。普段なかなか見ることのできない議場を体感することができる、またとない機会です。ぜひ雰囲気だけでも味わってみませんか。

ご都合のよい時間に、お気軽にお越しください。

問合せ 小浜市議会事務局
TEL 64-6035

日 時 令和8年8月25日(火)まで
平日の午前10時から午後5時まで

場 所 小浜市役所 5階
議場または委員会室

対 象 市内に在住または在学する方
小学生以下は保護者同伴
大人の方も大歓迎！

席 数 50席(先着順)

受 付 5階の議会事務局までお越しください